

最新設備で災害対応力強化

横浜市会議員 伏見ゆきえ

からの要望もあり、市民の安全を守るために活動する消防団員の災害対応能力向上も期待されています。

横浜市消防局は、築50年近くが経過し老朽化が進む横浜消防訓練センターの全面改修工事を、令和7年度から3年間で実施すると発表しました。今回の改修は、施設の老朽化に加え、近年

増加する大規模災害への対応能力を維持・強化することを目指す。多様化する災害に対応できる実践的な訓練施設を整備を進め、令和10年度の全面供用開始を目指す。また、工事期間中も

助訓練塔に加え、水没した車両からの救出訓練、震災による瓦礫からの救助訓練など、より実災害に近い状況を再現できる施設が整備される予定です。また、工事期間中も

工夫しながら研修や訓練などは継続し、万が一に備える体制です。今回の改修工事に伴い2年に一度、訓練センターで開かれていた横浜消防操法技術訓練会は11月8日、山下頭に変

改修工事は市の防災体制を強化する上で、重要な事業と位置付けられています。また多様な訓練施設の整備は、消防団員

安全安心へ一歩前進



伏見ゆきえ

2015年に横浜市会議員初当選。現在3期目。

連絡事務所／〒244-0816 戸塚区上倉田町447-1
プラージュ戸塚502号室 ☎045・443・5757 / FAX
045・443・5671 / Facebookで日々の活動更新中!

更して行われる予定です。現在、市内の各消防団ではこの訓練会に向け、日々熱心な訓練が行われています。